

宝塚中心市街地地区

(兵庫県宝塚市)

- 計 画 期 間 平成 17 年～21 年
- 面 積 100 ha
- 交付対象事業費 904 百万円
- 市人口 219,862 人 (地区内人口 10,100 人)

ポイント 「産官学民」の連携による中心市街地の活性化

地区概要 中心市街地において、宝塚の新たな魅力づくりとして観光文化発信拠点を創出し、既存ストックの有機的なネットワーク化と多様な主体の参加によるまちづくり活動の実践により活性化を図る。

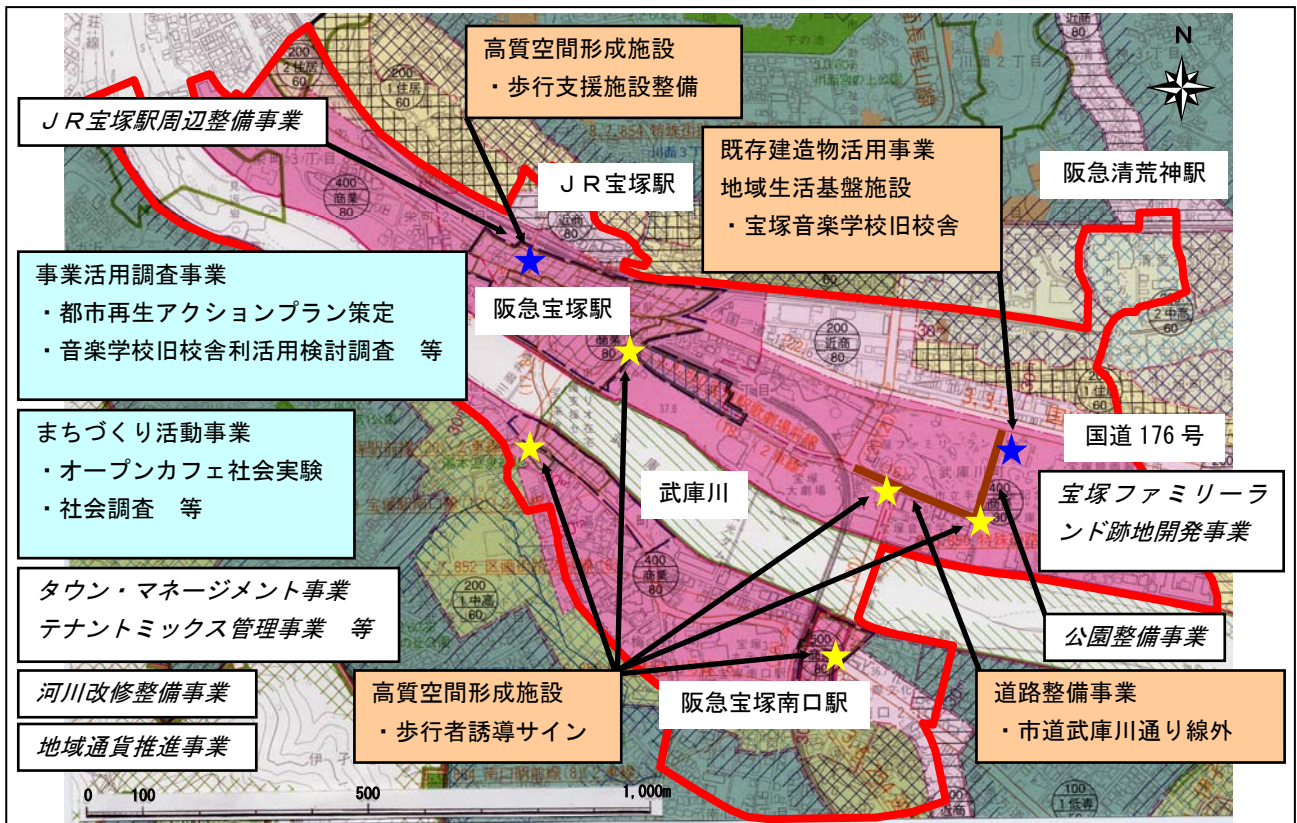
目 標 「産官学民」の多様な主体の連携によるまちづくり活動などを通して、中心市街地の魅力と活力の再生を図る。

指 標 新たな観光文化発信拠点の創出によるあらたな魅力の充実度、まちの賑わいの創出度、産官学民の多様な主体の連携によるまちづくり活動の充実度などを推し量る指標とした。

来訪者数	1,289,000 人/年 (H16)	→	1,482,350 人/年 (H21)
歩行者交通量	13,200 人/日 (H16)	→	14,520 人/日 (H21)
まちづくり活動団体数	5 グループ (H16)	→	20 グループ (H21)

事業内容 基幹事業 (870 百万円) → 道路 (歩道部幅員 3.5m～7m、延長 400m)、地域生活基盤施設 (広場 1カ所、1,000 m²)、高質空間形成施設 (歩行者誘導サイン 5 箇所、歩行支援施設 [エレベーター 2 基、エスカレーター 1 基])、既存建造物活用事業 (宝塚音楽学校旧校舎 1カ所、1,000 m²)

提案事業 (34 百万円) → 事業活用調査事業 (既存建造物活用検討調査、都市再生アクションプラン策定等)、まちづくり活動推進事業 (オープンカフェ社会実験、社会調査、広報啓発活動推進等)



地区の現況と課題

当該地区は、本市の中心市街地であり、JR及び私鉄が結節し、地区内を広域幹線道路の国道176号が通過するなど、阪神北部地域の交通の要衝となっているとともに、宝塚歌劇や宝塚温泉、また、かつては宝塚ファミリーランド（遊園地）など大型集客施設が立地していたことから、市内外から多くの人々が訪れる街として発展してきた。

しかし、近年になり温泉旅館街の衰退、駅前再開発ビルの空洞化、市立温泉施設の一時休館、遊園地の閉園、大型ホテルの閉館などが相次ぎ、中心市街地の活力と魅力の再生が喫緊の課題となっている。

提案事業の特徴

社会実験「オープンカフェ」と関連イベントの実施

中心市街地の活力と魅力の再生を図ることを目的とし、「産官学民」の多様な主体が参画、連携し、地元商業者の協力のもと、大学生が企画運営するオープンカフェを社会実験として実施した。また、関連イベントとして足湯体験、エコマネークリーン大作戦、宝塚都市ブランドデザイン展、フリーマーケット、朝市、イルミネーションイベントなどを組み合わせて実施し、街の賑わいや楽しさを相乗的に創出した。市はこれらまちづくり活動を実践する団体の活動に対し助成等支援を行った。

宝塚音楽学校旧校舎の利活用計画の策定

市で保存することとなった宝塚音楽学校旧校舎について、その利活用のあり方を学識経験者、市民、公共的団体等の代表者、民間人等からなる委員会を設置し、協議検討を行い、利活用計画（案）及び事業推進計画（案）を策定した。また、策定にあたっては、市民等の意見を反映するため、ワークショップの開催やアンケート調査、パブリックコメントを実施した。

計画策定プロセス

「全国都市再生モデル調査」の実施（都市再生の取り組み経緯）

当該地区の課題解決の契機となることを期待し、平成15年度に国が支援する「全国都市再生モデル調査」に応募、採択を受け調査を実施した。調査については、以前から「産官学民」の連携による本市のまちづくりへの協力申し入れがあった関西学院大学に依頼を行い、これまでにない自由な発想に基づく「都市再生ビジョン（案）」の提案がなされた。平成16年度には、この案について市民や関係者を交え検証を行い、実現性の高いプロジェクトから都市再生に向けた取り組みを推進していくこととなった。これを受け、平成17年度以降は、「産官学民」の多様な主体が連携、協議できる場（全体協議会、連携ワーキング、アドバイザー会議）なども設置し、中心市街地の魅力と活力の再生に向けた取り組みを実施している。

宝塚市長阪上善秀氏のコメント

平成18年8月の「中心市街地の活性化に関する法律」の改正を受け、現在、中心市街地活性化基本計画の策定に取り組んでいる。

当該地区における取り組みは、都市再生プロジェクトとしてスタートを切ったが、この中で出てきた多様な主体の連携の芽をさらに伸ばしていくとともに、本市が持つ自然環境、歴史性・文化性、良好な都市ブランド、市民力等の地域資源をさらに活用し、中心市街地の魅力の再生と賑わいの創出に繋げていきたい。



◀ 閉園前の遊園地

空き店舗が目立つ駅前再開発ビル ▶



◀ 民有地（公開空地）で実施

官有地（河川敷）で実施 ▶



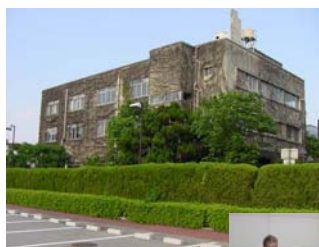
賑わうオープンカフェと足湯体験（H17及びH18年度秋実施）



◀ エコマネークリーン大作戦



イルミネーションイベント ▶



◀ 宝塚音楽学校旧校舎

ワークショップの様子 ▶



▲ 連携ワーキングの様子